

鍼灸・基本前期（先急の一本鍼＝応急処置）

一人20分5人通しのためのまとめ

(1) 応急処置の基本：遠くに強く引く（頭首胴→遠:手足末端、手足末端→遠:左右上下対角）

(2) 運動器系応急処置の手順

- 1.手足甲引鍼(+運動鍼)
- 2.基本刺鍼
- 3.動作鍼など
- 4.後始末：頭散鍼→手足甲引き鍼  
↑陽のみの時は省略

手首・足首：

対角刺→上下刺→巨刺→患部  
(対角刺、上下刺、巨刺ときには、+運動鍼)

指：糸状灸

井穴→動作灸→井穴or指端or骨空

	腰	肩	膝	肘
基本刺鍼	腰～尻 膝裏～脹ら脛 ～踵	首～肩 肩甲骨まわり 脇の下まわり	膝裏～脹ら脛	肘の手のひら側
動作鍼	捻転制限 (腰椎3横輪切) 前屈制限 (足太陽経絡)	拳上制限 (脇の下～上腕陰経) (脇の下～胸,背中) (肩甲骨まわり) 捻転制限 (肩峰～胸) (肩峰～背中)	正座不可 (膝裏～尻,踵) (膝皿～腹,足首) 体重かけるのが不可 (足と尻の境目)	屈曲制限 (手陽経) 伸展制限 (手陰経) 捻転制限 (前腕太い部分) 腱附着部痛 (上腕の筋腹)

(3) 内科系応急処置の手順

- 1.上衝をおさめる：手甲に引く
- 2.手足に引く
  - 2.1.手陰経手首ちかくに引く
  - 2.2.足(陰経→陽経)に引く
- 3.陽に引く：背を丸めた曲がり目
- 4.上衝をおさめる
  - 4.1.肩首頭に散鍼
  - 4.2.手甲に引く

☆：手早い刺鍼が大切！

- ※1.：頭の熱い処との経絡的關係
- ※2.1：表位.上焦→列缺、それ以外→内関
- ※2.2：主に足首から先、腹邪の担当経絡
- ※3.：背を丸めた曲がり目
- ※※ 変化が大きい時は、接触鍼か鍔鍼で

内科系急性症状（＝発作）のモデル図

